

2019 年度 支援サービスちとせ 事業報告

支援サービスちとせ

管理者 土屋 三津子

【事業目的】

- ① 地域の高齢者が住み慣れた場所で、自分らしく生活ができるよう相談した支援する援助者として誰からも頼りにされるよう包括ケア会議やケアマネ交流会への参加をすることで援助技術などを身に付けられるよう努力した。
- ② その人が有する能力に応じて知識や教養に裏づけられた技術を提供できるよう、また周囲とともに成長させるよう実践的な学びである専門研修や更新研修を計画的に実施することができた。
- ③ 法令知識を身に付け説明責任や業務の効率化を図れるよう職員同士で確認し、事業所全体の法令遵守を推進できるよう事業所内研修やおおむね週 1 回の情報伝達会議などを行い事業所運営の充実につなげていく。
- ④ ひとり、ひとりの高齢者の安全と健康に直結できるよう自立を支援する専門職として利用者支援や地域づくりが図れるようケアマネ交流会や地域合同包括ケア会議へ参加ができた。

【事業活動報告】

- ① 所管の保健福祉地域支援課や関連事業所との連携を図るよう努力する。
 - ② 日ごろから地域住民との連携を図り関係機関への通報及び連携体制づくりができるよう努力する。
 - ③ 個人情報の取り扱いやその使用などについて丁寧な説明や同意など規程を遵守し使用する。
 - ④ 事業者と事業所の組織体制を整え、安全で質の高いサービスを提供し続けるため苦情や事故への取り組みを強化する
 - ⑤ 地域包括ケアシステム構築のため市町村と一体となって取り組み、個別のケースの検討や地域課題の抽出などの提案、提出ができるよう努力する。
- ・事業計画に基づき当法人が開催する運営推進委員会、認知症カフェ、併設施設の秋祭りへの参加や区が主催する砧地区ご近所フォーラムなどへの参加、虐待・困難事例ケース会議の報告、参加また区や包括支援センターで開催する事例検討会の立案など打ち合わせからの参加することができた。砧地域主任ケアマネージャーの会に打ち合わせより参加し、事例検討会の司会や受付など実施し会の運営に協力することができた。

【事業実績】

支援ちとせ 月次請求件数（介護請求）目標 96 件に対し 65 件から 68 件で推移した。
年度途中で退職者 1 名あり、他事業所からの人事異動により補充したが、引継ぎができない状態だったので担当件数は 0 件からのスタートとなった。
2019 年度予算計画数値改め 1 次補正予算に対し毎月 70～80%の達成率であった。

【研修実施報告】

*外部研修参加件数は毎月 2 回までは実施できなかったが、研修内容を週の会議での共有や包括ケア会議、地域ケアマネ交流会、地域連携医事業、ケアマネ連絡会への参加は実施できた。

- ・次年度計画時はより実現できる研修計画を各自立案する。

【事業所内会議開催報告】

毎月ほぼ定期に行い、実施困難な時は皆で予定を確認しながら曜日、時間変更をしながら実施できた。

【悠遊行事への参加報告】

月1回の Cafe ゆうゆうへの参加
ケアセンター世田谷秋祭りへの参加

以上